



ライフロング・ラーニング

## 美濃加茂市の生涯学習事業

美濃加茂市生涯学習課長 坂井 嘉巳

Minokamo Lifelong Learning Division

### 美濃加茂市の生涯学習

#### 内容

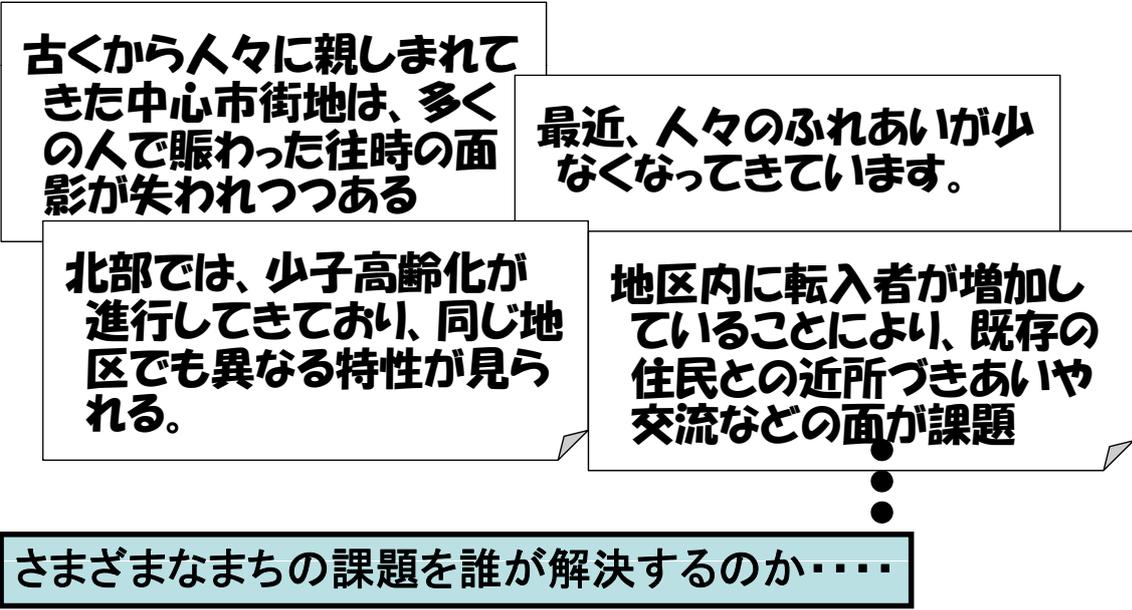
- ◆ まちの課題
- ◆ 自治体を取り巻く環境
- ◆ キーワード
- ◆ 地域づくり型生涯学習
- ◆ これから



Minokamo Lifelong Learning Division

まちの課題

まちづくり市民ワークショップから見えてきたもの  
(美濃加茂市第5次総合計画から)



Minokamo Lifelong Learning Division

自治体を取り巻く環境

美濃加茂市の厳しい現実

過去(平成13年度)と現在(平成22年度)

• 人口 50,190人	➡	55,219人へ	} 増加
• 高齢化率 16.13%	➡	18.72%へ	
• 予算 170億6,800万円	➡	170億6,000万円	減少

行政サービスは、人口構成がベースとなるが、数字が物語るのは、…

限られた財源の中、多様化する市民ニーズに対応した、市民とのパートナーシップによるまちづくりへ

Minokamo Lifelong Learning Division

キーワード

「市民協働の実践者の育成 1」

1. コンソーシアムの共同事業

NPOコミュニティ論の講座の会場提供

平成16年度から

当初は、市民が受講

⇒ 平成18年度岐阜経済大学との地域連携協定締結

多くの市民が受講できる環境へ

平成18年度から美濃加茂市が主催となる

「まちづくり講座 in みのかも」

Minokamo Lifelong Learning Division

キーワード

まちづくり講座 in みのかも

新たな展開へ

・多くのコミュニティ診断士が誕生

・市民活動グループ

「美濃加茂まちづくりフォーラム」が誕生

NPOコミュニティ論受講生が中心

16人が参加

地域づくりやまちづくり事業を計画している

Minokamo Lifelong Learning Division

キーワード

「市民協働の実践者の育成 2」

「岐阜県地域づくり型生涯学習」

モデル事業の推進

1. 定住自立圏域形成協定の締結

(1) 坂祝町(平成21年10月)

(2) 川辺町(平成22年10月)

まず、坂祝町との共同による事業展開へ

「人を育てよう！」

まちの課題について、美濃加茂市民と坂祝町民による、「まちの課題についての会議」の必要性

(双方の担当者が共通の認識)

Minokamo Lifelong Learning Division



地域づくり型生涯学習

岐阜県地域づくり型生涯学習モデル事業

5月8日 第1回ワークショップ

8月末までに、7回開催

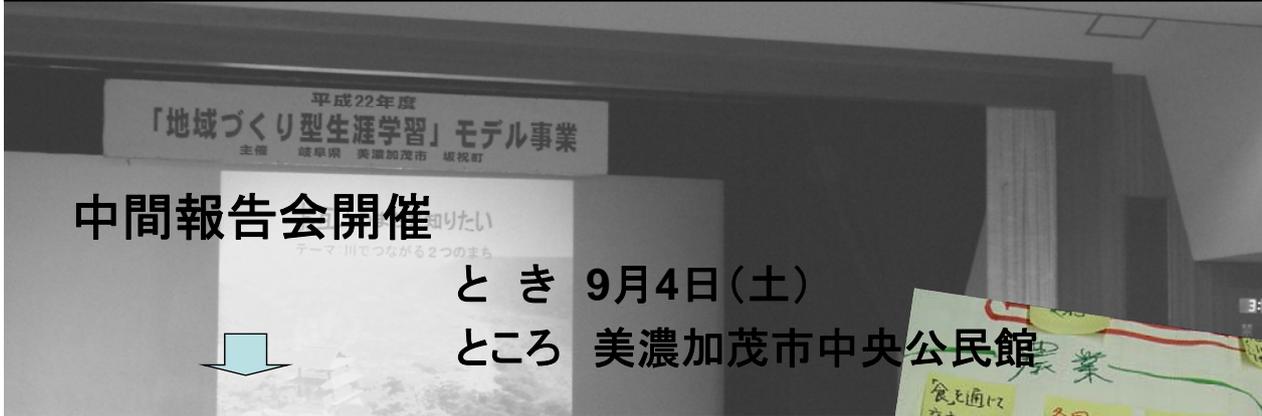
参加者 30人

美濃加茂市 25人、坂祝町 5人

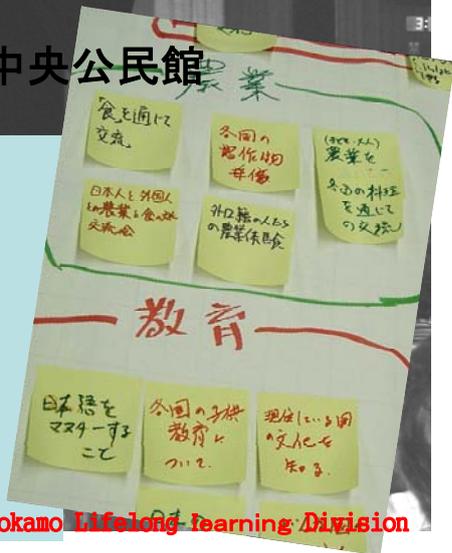


Minokamo Lifelong Learning Division

地域づくり型生涯学習



- 5つのワーキンググループが活動を報告
1. 美濃加茂市社会教育視聴覚協議会
  2. みのかも・坂祝つなぎ隊
  3. 異世代交流グループ「記憶のリレー」
  4. ため池・河川環境レンジャー部隊
  5. **多文化共生・アグリ交流**



Minokamo Lifelong Learning Division

地域づくり型生涯学習

参加者が、学んだことは何か？

- ワーキング・グループの活動から
- ・ **多文化共生・アグリ交流グループ**

メンバー：美濃加茂市3人  
坂祝町1人



地域に外国人が多く暮らしている  
美濃加茂市9.1%、坂祝町7.9%

課題

日本人住民は、「不安」など、マイナスのイメージが強い

Minokamo Lifelong Learning Division

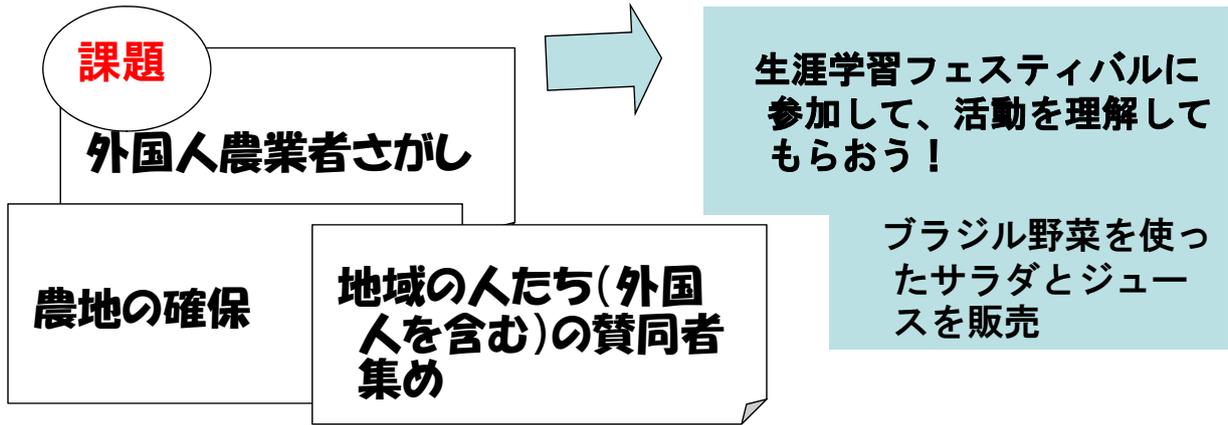
地域づくり型生涯学習

参加者が、学んだことは何か？

ワーキング・グループの活動から

- ・ 多文化共生・アグリ交流グループ

テーマ：「農業体験」をとおして多文化共生への理解促進



Minokamo Lifelong Learning Division

地域づくり型生涯学習

参加者が、学んだことは何か？

ワーキング・グループの活動から

- ・ 多文化共生・アグリ交流グループ



変化

1. 試食した日本人の感想「また、食べてみたい」
2. ボランティア（日本人も外国人）が楽しそうに手伝っていた

多文化共生への理解  
プラスのイメージへ

試行錯誤が続く

ブラジル野菜を使ったサラダとジュース)

Minokamo Lifelong Learning Division

## 現在

各ワーキンググループが、自主活動を展開している

## これからの課題

1. 第1期の来年度以降の活動をどう組み立てるか
2. 第2期の活動をどう展開するか
3. 地域の人たちとの連携



Minokamo Lifelong Learning Division

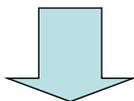
県と市町村との連携による「地域づくり」を  
県

- 地域づくり活動を創出できる人材育成
- 地域づくり活動に関わる広域的情報の提供

など(県生涯学習振興指針)

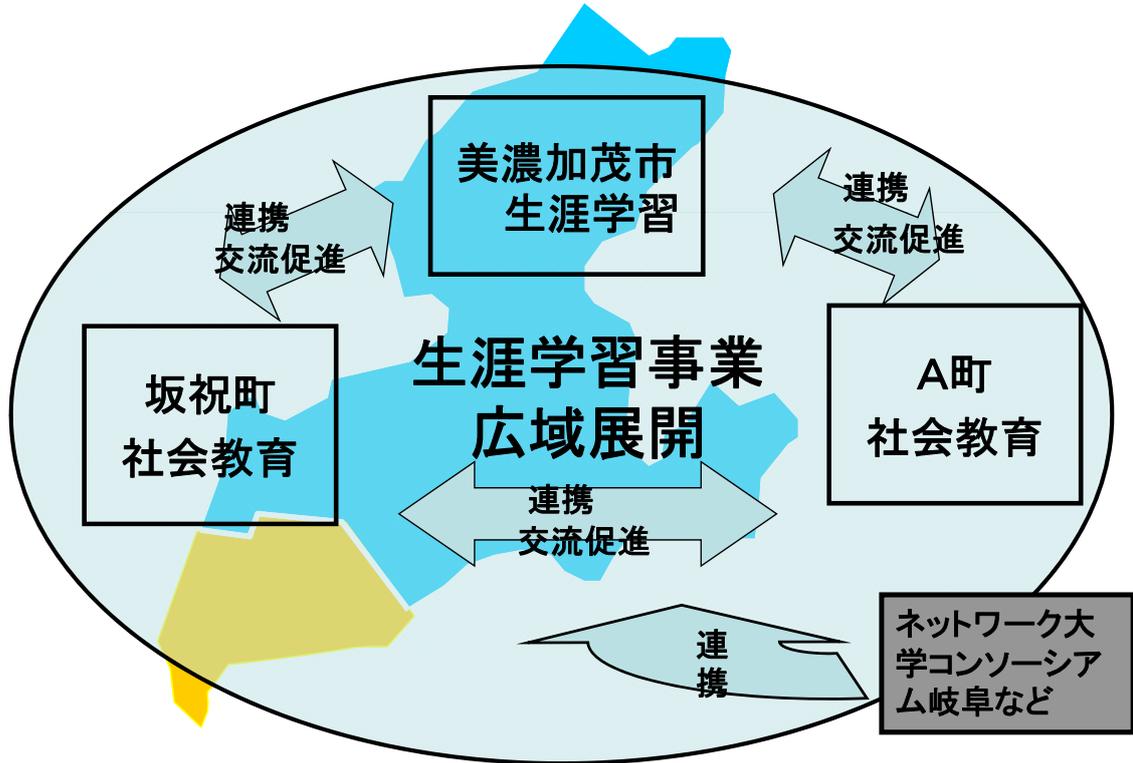
市町村

- 効率のよい事業展開
- 行政区域 ⇒ 生活圏域 での取組の必要性



県と市町村による連携が重要

これから



Minokamo Lifelong Learning Division

これから

- 連携による効果
  - ◆ 学習ニーズの多様化、個別化が進展する中、それに対応する学習機会の充実
  - ◆ 生活圏の広域化が進む中、地域特性を生かした生涯学習の推進
  - ◆ 地域内住民の交流促進による、地域の活性化
  - ◆ 隣接自治体との連携・ネットワークによるコストリダクションの推進
  - ◆ 生涯学習機関等連携による、まちづくり

